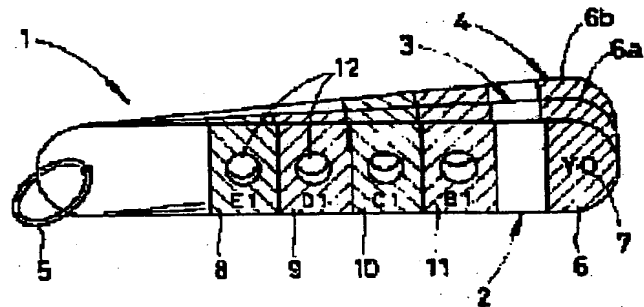


Patent number:	JP11272179
Publication date:	1999-10-08
Inventor:	ASAKA JUNKO; KUDO MIKAKO; SUZUKI NORIKO
Applicant:	KANEBO LTD
Classification:	
- international:	G09F5/04
- european:	
Application number:	JP19980070860 19980319
Priority number(s):	

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the skin color sample tool by which a customer can objectively grasp the color of her face and select makeup materials matching the color.

SOLUTION: This tool has a beltlike skin color sample sheet 2 where skin colors which belong to a YO series and which differ in lightness from one another are displayed at skin color display parts arrayed along the length, a beltlike skin color sample sheet 3 where skin colors which belong to an OC series and which differ in lightness are displayed at skin color display parts arrayed along the length, and a beltlike skin color sample sheet 4 where skin colors which belong to a PO series and which differ in lightness are displayed at skin color display parts arrayed along the length, and cut holes 12 are formed at the respective skin color display parts 8 to 11 of the skin color sample sheets 2 to 4.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-272179

(43) 公開日 平成11年(1999)10月8日

(51) Int.Cl.⁵

G 0 9 F 5/04

識別記号

F I

G 0 9 F 5/04

D

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全5頁)

(21) 出願番号 特願平10-70860

(22) 出願日 平成10年(1998)3月19日

(71) 出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72) 発明者 浅香 純子

東京都品川区大崎3-1-5-1303

(72) 発明者 工藤 美佳子

神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-20-3-402

(72) 発明者 鈴木 紀子

神奈川県横浜市磯子区洋光台4-19-6-202

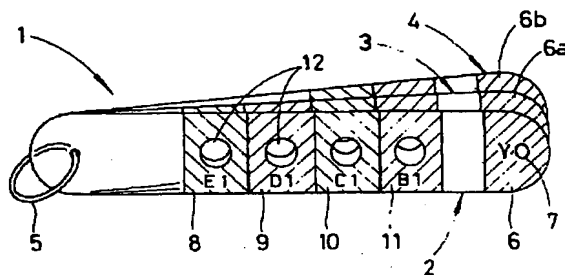
(74) 代理人 弁理士 西藤 征彦

(54) 【発明の名称】 肌色見本具

(57) 【要約】

【課題】顧客が自分の顔の色を客観的に把握することができ、その色に適したメイクアップ化粧料を選択することのできる肌色見本具を提供する。

【解決手段】Y O系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ肌色表示部分8~11に表示されている帯状の肌色見本シート2と、O C系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ肌色表示部分に表示されている帯状の肌色見本シート3と、P O系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ肌色表示部分に表示されている帯状の肌色見本シート4とを有し、各肌色見本シート2~4の各肌色表示部分8~11のそれぞれに、切欠き穴12が形成されている。



1 : 肌色見本具

2-4 : 肌色見本シート

8-11 : 肌色表示部分

12 : 切欠き穴

【特許請求の範囲】

【請求項1】 互いに色の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートからなり、上記肌色見本シートの各肌色を表示する部分のそれぞれに、切欠き穴が形成されていることを特徴とする肌色見本具。

【請求項2】 上記帯状の肌色見本シートが、幅寸法20～40mm、長さ寸法120～180mmに設定されている請求項1記載の肌色見本具。

【請求項3】 第1の肌色系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートと、上記第1の肌色系列とは異なる肌色系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートとを有し、各肌色見本シートの各肌色を表示する部分のそれぞれに、切欠き穴が形成されていることを特徴とする肌色見本具。

【請求項4】 上記2枚の帯状の肌色見本シートが、ともに幅寸法20～40mm、長さ寸法120～180mmに設定されている請求項3記載の肌色見本具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧品販売店等において、化粧品の販売促進に用いられる肌色見本具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、化粧品販売では、専門の販売員が、店頭あるいは訪問販売先で、顧客の肌の状態や要望を聞きながらカウンセリングを行ったのち、適宜の化粧品を選んで推奨し販売することが行われている（カウンセリング方式）。また、最近では、販売員との問答やカウンセリングを疎ましく感じる顧客や、短時間で自分の判断に基づいて商品選択を行いたい顧客のために、顧客自身が、棚から化粧品を選択して購入する方式（セルフ方式）が提案され、コンビニエンスストア等で実施されている。

【0003】そして、上記カウンセリング方式にしる、セルフ方式にしる、化粧品販売店の店頭には、大量の試供品が用意されており、顧客は、販売員とやりとりしながら、あるいは自分自身で選択しながら、上記試供品を自分の肌に塗布し、その色や塗布具合を確かめた上で、化粧品購入を決定することが多い。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、顔の肌に塗るファンデーションや口紅等のメイクアップ化粧料は、実際に顔に塗布したり拭き取ったりする作業が煩わしいため、通常は、顧客が自分の手の甲に試供品を塗ってその色味を確かめているにすぎない。ところが、手の色は顔の色と異なるため、その試供品の色が本当に自分に適した色であるかどうかを判断することがむずかし

い。したがって、顧客自身にとって、十分に納得して、自分に合ったファンデーションや口紅等のメイクアップ化粧料を選択することがむずかしい、という問題がある。

【0005】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、顧客が自分の顔の色を客観的に把握することができ、その色に適したメイクアップ化粧料を選択することのできる肌色見本具の提供をその目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明は、互いに色の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートからなり、上記肌色見本シートの各肌色を表示する部分のそれぞれに、切欠き穴が形成されている肌色見本具を第1の要旨とする。

【0007】また、第1の肌色系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートと、上記第1の肌色系列とは異なる肌色系列に属する肌色であって互いに明度の異なる複数の肌色が、長手方向に並んだ状態で表示されている帯状の肌色見本シートとを有し、各肌色見本シートの各肌色を表示する部分のそれぞれに、切欠き穴が形成されている肌色見本具を第2の要旨とする。

【0008】

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施の形態について説明する。

【0009】図1は本発明の肌色見本具の一実施の形態を示している。

【0010】この肌色見本具1は、主としてファンデーション購入を希望する顧客のために用意されるもので、3枚の同一形状の肌色見本シート2～4を重ねて、左端部を開閉式のリング5で綴じた構成になっている。

【0011】上記3枚の肌色見本シート2～4は、いずれも厚み0.2mmの透明プラスチックシート（例えば塩化ビニル製）からなり、その形状は、幅27mm、長さ154mmの帯状体である。そして、上記帯状体の左右の端部は、半円状にRが付けられている。

【0012】まず、1枚目の肌色見本シート2について説明する。この肌色見本シート2は、右端の略半円状部分6が、やや黄色がかった肌色に着色されており、そこに白抜きで、「Y O」の見出し7が表示されている。

「Y O」は「イエローオークル」の略で、黄色がかった肌色系列を示す象徴記号として、化粧品メーカーがファンデーションカラーの表示に用いているものである。この見出し7により、この肌色見本シート2は、黄色がかった肌色系列に属する肌色の色見本を表示するものであることがわかる（以下、この肌色系列を「Y O系列」という）。なお、他の肌色系列として、「O C」（オークルを略した象徴記号）で示される標準的な肌色系列

(「OC系列」と、「PO」(ピンクオークルを略した象徴記号)で示される赤色がかった肌色系列(「PO系列」)とがあげられる。

【0013】そして、上記肌色見本シート2の中央部には、長手方向に4色の肌色が並んで表示されており、それぞれの肌色表示部分8~11に、切欠き穴12が形成されている。

【0014】また、上記4色の肌色表示部分8~11には、向かって左から順に、「E1」、「D1」、「C1」、「B1」の文字が付記されている。これも、化粧品メーカーが用いている象徴記号で、一つの肌色系列(この場合、YO系列)において、明度の異なる肌色を区別するためのものである。すなわち、「C1」はその肌色系列における標準色、「D1」は標準色よりも1段階明度の低いもの、「E1」はさらに1段階明度の低いもの、「B1」は標準色よりも1段階明度の高いものを示している。なお、肌色見本シート2の右端の、略半円状部分6の着色には、「D1」で示される肌色と同一の肌色が用いられている。

【0015】上記肌色見本シート2を左側にめくって裏にすると、裏側の面にも、図2に示すように、表側と同様の肌色着色部が設けられている。ただし、その配置は、表側と左右反対になっており、左端の略半円状部分6'に「YO」の見出し7が表示されている。また、肌色の表示部分8'~11'は、向かって左から「B1」、「C1」、「D1」、「E1」と並んでいる。したがって、この肌色見本シート2を、表面を利用して、左側から顔に当てても、裏面を利用して、右側から顔に当てても、顔の色と肌色表示部分8~11、8'~11'を対比させやすいようになっている。

【0016】つぎに、2枚目の肌色見本シート3について説明する。この肌色見本シート3も、図3に示すように、上記1枚目の肌色見本シート2と同様、右端の略半円状部分6aが肌色に着色され、中央部に、長手方向に並ぶ4色の肌色表示部分13~16を備えている。ただし、上記略半円状部分6aは、前記1枚目の肌色見本シート2のそれとは異なり、ほぼ標準的な肌色で着色されており、そこに、白抜きで「OC」の見出し7aが表示されている。したがって、この肌色見本シート3は、OC系列に属する肌色の色見本を表示するものであることがわかる。

【0017】また、上記肌色見本シート3の中央部に並ぶ4色の肌色は、黄色がかったものでも赤色がかったものでもない、OC系列に属する肌色である点では、前記肌色見本シート2とは異なるが、向かって左から順に、「E1」、「D1」、「C1」、「B1」の文字が付記され、明暗の程度が異なるよう設定されている点、またそれぞれに切欠き穴12が形成されている点において、前記肌色見本シート2と同一の構成になっている。なお、上記肌色見本シート3の裏面の構成も、前記肌色見

本シート2の裏面に準じた構成になっている。

【0018】つぎに、3枚目の肌色見本シート4について説明する。この肌色見本シート4も、図4に示すように、上記肌色見本シート2、3と同様、右端の略半円状部分6bが肌色に着色されているが、その色は、やや赤色がかった肌色である。そして、そこに、白抜きで「PO」の見出し7bが表示されている。したがって、この肌色見本シート4は、PO系列に属する肌色の色見本を表示するものであることがわかる。

【0019】そして、この肌色見本シート4の右よりの部分には、長手方向に2色の肌色が並んで表示されており、それぞれの肌色表示部分17、18に、切欠き穴12が形成されている。また、この肌色見本シート4の裏面の構成は、前記肌色見本シート2、3の裏面に準じた構成になっている。

【0020】上記肌色表示部分17、18に表示された肌色は、「C1」の文字が付記された標準色と、「B1」の文字が付記された、それより1段階明度の高い色の2色である。YO系列、OC系列に表示されていた「E1」、「D1」に相当する、明度の低い肌色については表示されていない。PO系列において、標準色よりも明度の低い肌色は、日本人にはきわめて少ないからである。

【0021】上記肌色見本具1は、例えばつぎのようにして用いることができる。すなわち、化粧品販売店の店頭や訪問販売先等において、ファンデーションや口紅等のメイクアップ化粧料を購入しようとする顧客に対し、専門カウンセラーは、まず、顧客の顔色がどんな肌色であるかを客観的に特定することを勧める。そして、顧客を鏡の前に導き、顧客が自分の顔を見ることができるようにした上で、図5に示すように、顧客の顔に、上記肌色見本具1を当てる。

【0022】このとき、3枚の肌色見本シート2~4の端部の、肌色に着色された略半円状部分6、6a、6bを順次顔に当て、顔の色がYO系列、OC系列、PO系列のいずれの系列に属する肌色であるかを判断する。そして、顔の色に最も近い系列を特定し、その肌色見本シート(例えばYO系列の肌色見本シート2)を取り出して、肌色見本表示部分8~11を順次顔に当てて、切欠き穴12から覗く顔の色と、その周囲の肌色見本とを対比させながら、どの肌色が最も近いかを判断する。

【0023】これらの判断は、カウンセラーが顧客とやりとりしながら行う。そして、最終的に特定された肌色の記号(例えばE1と表示された肌色)によって、顧客の顔の色を、例えばYO-E1、と特定し、その肌色に適した色のファンデーションや口紅等のメイクアップ化粧料を、顧客に推奨する。なお、カウンセラーは、手元に、肌色の種類別に、その肌色に適したファンデーションや口紅等のメイクアップ化粧料をまとめた情報シートを持っておくことにより、上記推奨をスムーズに行うこ

10

20

30

40

50

とができる。

【0024】このように、上記肌色見本具1を用いることにより、顧客は、自分の顔を汚すことなく、簡単に顔の色を客観的に特定することができるため、顧客は、短時間で、自分に適したメイクアップ化粧料を選択し購入することができる。また、カウンセラーとのやりとりを介さなくても、セルフ方式の店舗等において、上記肌色見本具1を常備しておけば、顧客自身が鏡の前で上記肌色見本具1を顔に当てることにより、簡単に、自分の顔の色を特定することができる。

【0025】なお、上記の例では、肌色見本シート2～4として、透明プラスチックシートを用いているが、その材質は、厚紙等、剛性シートであればどのようなものであっても差し支えはない。ただし、その表面を顔に当てるものであるから、汚れを拭き取ったり洗浄したりしやすいように、プラスチックシートを用いることが好適である。

【0026】そして、その形状、寸法は、長手方向に肌色見本が並んだ帯状体であれば、特に制限するものではない。ただし、幅寸法が20～40mm、長さ寸法が120～180mmの範囲内にあるものが、手に持って顔に当てたりずらしたりする動作を行いやすく、好適である。

【0027】また、上記の例では、3枚の肌色見本シート2～4を組み合わせて、Y O系列とO C系列とP O系列の3系列の肌色見本を表示するようにしたが、肌色系列ごとに肌色見本シートを分ける必要はなく、例えば複数の肌色を、1枚の肌色見本シートに並べて表示することもできる。もちろん、2種類以上の肌色系列の肌色群を、上記の例のように肌色系列ごとに分けて表示するようにしてもよい。このように、肌色系列ごとに分けて複数の肌色見本シートを用意した方が、多数の肌色見本をコンパクトにまとめることができ、肌色の特定を容易に行うことができる。なお、一枚の肌色見本シートに、何種類の肌色見本を表示するかは適宜に設定することができる。

*【0028】さらに、上記の例では、3枚の肌色見本シート2～4を片方の端部でリング5で綴じ合わせているが、肌色見本シートが複数の場合、これらを必ずしも綴じる必要はなく、その保持形態は特に限定されない。

【0029】

【発明の効果】以上のように、本発明の肌色見本具によれば、カウンセラーや顧客自身がこれを顧客の顔に当てて、顔の色と肌色見本とを対比することにより、顧客の顔の色を、顧客自身が客観的に把握することができる。

したがって、顧客が、顔を汚すことなく、短時間で、自分の顔の色を納得した上で、その色に適した化粧料を選択することができるという効果を奏する。

【0030】また、本発明の、肌色見本シートごとに異なる肌色系列の肌色群を並べて表示したものによれば、多数の肌色見本がコンパクトにまとめられ、取扱いやすいため、上記効果がさらに有効に発揮される、という利点を有する。

【0031】そして、肌色見本具に用いる肌色見本シートを、幅寸法20～40mm、長さ寸法120～180mmに設定すると、手に持って顔に当てたりずらしたりする動作が行いやすいという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の肌色見本具の一実施例の説明図である。

【図2】上記実施例に用いる1枚目の肌色見本シートの裏面を部分的に示す説明図である。

【図3】上記実施例に用いる2枚目の肌色見本シートの説明図である。

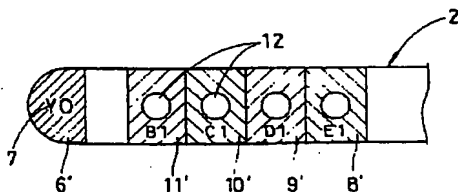
【図4】上記実施例に用いる3枚目の肌色見本シートの説明図である。

【図5】上記実施例の使用態様の説明図である。

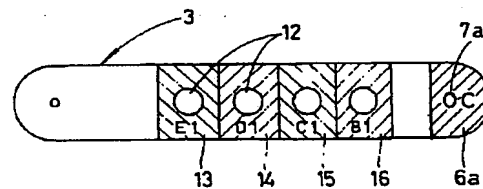
【符号の説明】

- 1 肌色見本具
- 2～4 肌色見本シート
- 8～11 肌色表示部分
- 12 切欠き穴

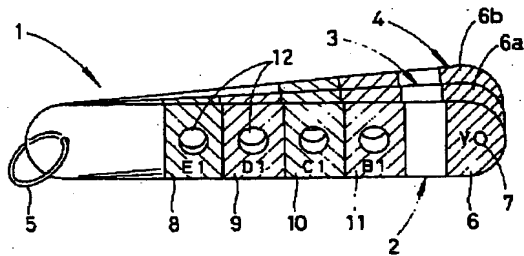
【図2】



【図3】

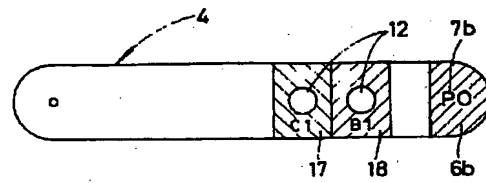


【図1】



- 1 : 肌色見本具
 2-4 : 肌色見本シート
 8-11 : 肌色表示部分
 12 : 切欠き穴

【図4】



【図5】

